



神奈川県

KANAGAWA



かながわ部活ドリームプラン21 versionIV

(令和6年度～令和9年度)

令和6年3月
神奈川県教育委員会



基本方針等

1 基本方針

自主的・自発的な部活動を通じた人づくり

将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目指し、自主的・自発的な部活動を通じた人づくりを目指します。

2 目標及び手立て

近年の部活動を取り巻く課題を踏まえ、少子化の中でも将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目指し、目標達成のための手立てを設定しました。

（目標）参加した誰もが満足できる学校部活動

学校部活動に参加しているのは生徒だけではなく、指導を担う教員や外部指導者など様々です。「部活動に参加する誰もが」とは、単に生徒の満足度を高めるだけでなく学校部活動を支える人も満足できるものにしていくことを目指します。

生徒：令和9年度の部活動満足度向上 学校：休養日及び活動時間の適正化

（手立て）目標達成のための2つの環境づくり

（1）安全・安心な部活動

部活動を安全・安心なものとするために必要な環境づくりを行います。専門的な知識や技術を持った指導者等を派遣することや、事故防止のために必要な知識の普及を指導者・生徒の両方にアプローチします。

（2）社会と関わる部活動

学校部活動は、これまで教師の献身的な支援により、実施されてきました。学校だけでなく、地域社会に開かれた環境づくりを行います。また、社会と関わる部活動としていくために、必要な手立てを講じます。



3 施策・事業体系

「目標」を達成するための手立てとして、「安全・安心な部活動のための環境づくり」「社会と関わる部活動の環境づくり」の2つの観点から、施策・事業に取り組みます。

（1）安全・安心な部活動

- ①多様な指導者の活用の推進
 - ・部活動指導員配置
 - ・トレーナー等派遣
- ②研修の充実
 - ・指導者等対象研修講座
 - ・高体連、高文連対象研修講座
- ③部活動の方針の推進
 - ・部活動点検、休養日調査
 - ・部活動計画及び活動報告の作成
- ④施設整備
 - ・防球ネット等の新設

（2）社会と関わる部活動

- ①地域や企業等との連携
 - ・企業等連携協議会（KDAC）
 - ・部活動に係る協議会
 - ・部活動支援ボランティア
 - ・部活動指導員配置（再掲）
- ②表彰・表敬の充実
 - ・かながわ部活ドリーム大賞
 - ・かながわ部活ドリーム表敬
- ③情報発信の充実
 - ・部活えらび探し
 - ・HP掲載
- ④学校関連団体への支援
 - ・県高体連等への事業補助

(1) 安全・安心な部活動のための環境づくり

■ 多様な指導者の活用の推進

安全で効果的な活動を行うことができるよう、専門的指導者を派遣します。

- ・部活動指導員の配置
- ・トレーナー等の派遣



■ 研修の充実

生徒の自主的・主体的な部活動になるよう、研修を行います。

- ・指導者等対象研修講座
- ・高体連、高文連対象研修講座



(2) 社会と関わる部活動の環境づくり

■ 地域や企業等との連携

関係団体と連携・協働し、外部人材を活用することで部活動を支援します。

- ・企業等連携協議会 (KDAC)
- ・部活動支援ボランティア



■ 表彰・表敬の充実

表彰や表敬の場を設けることで、部活動の充実を図ります。

- ・かながわ部活ドリーム大賞
- ・かながわ部活ドリーム表敬



各事業の紹介



部活動における これまでの取組



○…運動部活動活性化推進事業（平成11年度～18年度）

- ・ 運動時の事故防止の手引き作成、配付
- ・ 部活動に入ろうキャンペーン
- ・ 運動部活動外部指導者活用事業 等

○…かながわ部活動ドリームプラン21（平成19年度～22年度）

- ・ 5つの戦略プロジェクト（みんなが主役、協働・連携 等）

○…かながわ部活ドリームプラン21 version II（平成23年度～26年度）

- ・ 「競技・表現力向上」「地域・企業等連携」「参加促進」の三本柱による関係団体の活用推進

○…かながわ部活ドリームプラン21 version III（平成27年度～令和5年度）

- ・ 「自主的・自発的な部活動を通じた人づくり」を基本方針とした「環境整備の推進」「指導体制の充実」「参加促進」の3つの観点からの部活動の活性化に取組む

■…かながわ部活ドリームプラン21 version IV（令和6年度～9年度）

- ・ 「かながわ部活ドリームプラン21 version III」の基本方針を継承し、「参加した誰もが満足できる学校部活動」を目標に「安全安心な部活動」「社会と関わる部活動」2つの環境づくりに取組む

シンボルマークについて



（制作者）

横浜国立大学
教育人間科学部
教授 渡辺 邦夫 氏

（デザインの意図）

このマークは、スポーツ系・文化系すべての部活動参加の喜びを、仲間と共に躍動する人間像として象徴しています。共に手をとる様は、相互理解と協調の精神を表し、部活動で得られる「人間関係の構築の素晴らしさ」を表現しました。

